

# わくわく田底っ子

第 12 号

文責：校長 益永 一幸

## 大事なことは たいてい「めんどくさい」

7月7日（金）の学校集会での校長の話

みなさん、勉強やお手伝いで「めんどくさい」と思ったことはありませんか。「めんどくさい」とよく思う人、手を挙げてください。たまに思う人、手を挙げてください。あまり思ったことがない人、手を挙げてください。そもそも、「めんどくさい」って悪いことですか。いいことですか。ある有名な人のエピソードを紹介します。

スタジオジブリで有名な宮崎駿さんのことです。2008年8月5日、「崖の上のポニョ」の創作現場を300日にわたって密着レポートしたドキュメント「NHK プロフェッショナル～仕事の流儀人～」という番組のある一場面です。

宮崎駿監督は、漫画を描いている途中で何度も何度も「めんどくさい」「めんどくさい」という言葉を言いながら、漫画を描いています。レポーターがどうして「めんどくさい」という言葉を使うのかたずねたところ、こんな言葉が返ってきました。

「世の中の大事なことって たいてい、めんどくさいんだよ。」「めんどくさいっていう自分の気持ちとのたたかいなんだよ。」

校長先生はこの言葉を聞いて、感動しました。宮崎駿さんがしなければならないことは、世界中のみんなにいい作品を作って見せることです。そんなプレッシャーを背負って毎日毎日漫画を作っています。「めんどくさい」「めんどくさい」とつぶやきますが、そんなめんどくさいことをコツコツとすることで、あの素晴らしい作品ができあがったのです。

「大事なことをしている」時は、たいてい「めんどくさい」ことをしているものです。「めんどくさい」と思うことは頑張っている自分への「いいメッセージ」なんですね。「めんどくさい」は悪いことではなく、いいことなのです。

でも、人は「めんどくさい」と感じた時、2つの行動をとるそうです。

一つは、めんどくさいから、やらない。二つ目は、めんどくさいけど、やる。

さっきも言ったように、「めんどくさい」と感じている時は、たいてい大事なことをしている時が多いものです。

だから、「めんどくさい」という気持ちが出てきたら、あれこれ心配せずに、「とりあえずやってみる」ことから始めてください。

「大事なことは、たいていめんどくさい」ものです。「めんどくさい」という気持ちは、大事なことをやり遂げるチャンスです。「とりあえずやってみる」ことから始めましょう。

「日本語好きだけん」～現在、「銅賞」14人～

毎週月曜の短時間学習で取り組んでいる「日本語好きだけん」の暗誦ですが、最終的に校長室に来て合格を目指すようにしています。現在「銅賞」（5個暗誦）は14人です。あと少して「銀賞」（10個以上暗誦）の人もいます。終業式で表彰します。校長室に来てチャレンジ（とりあえずやってみる）してほしいと思います。可能性を伸ばしたいです。